

話」に終わらないよう祈りたいものです。

■「3・11」は災害の歴史に永久にとどめられることでしょう。3月11日午後2時46分、東日本を襲ったM9・0の大地震とそれに伴う大津波は北は青森・八戸市から南は茨城・鉾田市周辺で大きな被害をもたらしました。判明した死者・不明者は2万8000人余(4月6日現在)とか。まだまだ増える可能性があるようです。「地震列島」日本を文字通り見せつけてくれました。阪神・淡路大震災から16年。天災は忘れられたころにやって来るものですね。

■：地震・津波だけでは済まず福島原子力発電所まで大きな被害に放射能漏れだけは余計でした。連日テレビや新聞はその危険性をめぐって「集中豪雨の報道」。原子物理学などさっぱり無知な当方はうんざり。安全性第一のはずがどうなっているのか、頭をひねります。「原発ルネサンス」とか「環境にやさしい」というわけで世界的な原発建設ラッシュ。全世界で440基、アメリカが104基、欧州17カ国で143基、インド20基などで、わが国には計54基あるそうです。安全性が単なる「神

■：地震といえば2月22日に起きたニュージーランド・クライストチャーチ地震も悲劇でした。3月16日に5人の死亡が確認され、これで日本人の犠牲者は23人、しかし未だ5人の安否不明がいるそうです。ほとんどが19・22歳の若者で、それも英語を学ぼうと留学した人たち。ニュージーランドも地震がひん発する地域にある島国、何処にいても不運はつきまとうものなのでしょう。

■：「震災は天罰」といい放つたのは石原都知事で、その後言い過ぎと思つたのか「撤回して、深くおわびします」。日ごろから日本人の「我欲の強さ」に義憤を覚えているところから思わず出た言葉なのでしょう。「天罰」は、今、住民と内戦状態にあるリビアのカダフィ大佐の常套句らしいですよ。中国の天安門事件も阪神・淡路大震災の時も「天罰」と側近にもらしたそうです。

■：カダフィ大佐は今や渦中の人。リビアでも住民が長期独裁政権に抗議してデモを拡大、ついに内戦状態に。平行して行われたエジプトやチュニジアでは政権が崩壊しました。

カダフィ大佐も国外逃亡か、と一部報道がにおわせていましたが、今は居坐り、空爆で反政府グループを攻撃。この内戦、いつまで続くことや。ちなみにカダフィ大佐の資産は6兆6000億円、夫人も2兆5000億円、プラス金塊20トといいますがケタ違い。スイス辺りで金を手にしてご夫婦で優雅に暮らせればリビアン国民は大喜び？

■：海外では今回の日本の大災害でも被災者の忍耐強さや秩序立った行動に驚きと称賛の声を上げてくれているようです。「災害に付き物の略奪と無法状態が見られないのはなぜか」(米CNNテレビ)の問いに視聴者から「敬意と品格に基づく文化だから」「愛国的な誇りの気持が強い」の声寄せられたそうです。阪神・淡路大震災の時も同じような感想が他国の人々から聞こえてきました。3月18日、米、英、カナダ、欧州(中央銀行)などが為替の協調介入にOKを出しました。これで急激な円高も阻止されるでしょう。今こそ助け合いの精神が必要な時はありません。被災地のみなさんのご健勝を祈りましょう。

月刊公論 MONTHLY
KORON

5月号 第44巻5号

平成23年5月1日発行 毎月15日発売
定価890円(本体848円) 送料92円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
発行所 株式会社財界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616
印刷所 株式会社廣済堂
取次店 トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。